

2025 年度版

人生 100 年時代に必要な備えとは？
授業展開案（50 分）

1. 学習のねらい

- ・超高齢社会において、日常生活を送るうえで意識すべきことを考える
- ・リスクから自分の身を守る手段として、自助・共助・公助について理解する
- ・「自助」として、自分で備える手段の預貯金と民間保険の特徴を理解する

2. 授業の概要 (50分)

概要	学習内容とねらい
導入 (2分)	今日のねらい ★授業の目的を確認する
展開① (7分)	1. 超高齢社会について考えよう ★超高齢社会の現状と起こりうるリスクについて学ぶ
展開② (10分)	2. リスクについて考えよう ★リスクが起きてしまった事例について具体的にイメージし、「何に」「いくら」かかるか考えることにより、必要なお金を準備する手段について学ぶ ★リスクから自分の身を守る手段として、自助・共助・公助について理解する
展開③ (6分)	3. 社会保障制度って何だろう？ ★社会保障制度（社会保険）について学ぶ
展開④ (20分)	4. 「預貯金」と「民間保険」の違いって何だろう？ ★自助の代表的な手段である「預貯金」と「民間保険」について、そのしくみと特徴を理解する ★データを用いて「生命保険」の特徴や種類について学ぶ
まとめ (5分)	5. まとめ ★授業のふりかえりをする

3. 授業形式

- ・パワーポイントと生徒用ワークシートを用いた講義形式

4. 準備物

- ・生徒用ワークシート (WS) ・パソコン (パワーポイントが使える環境のもの) ・プロジェクター
- ・スクリーン

～ 各種参考資料のご紹介 ～

1. 社会保険や生命保険等に関する情報提供ツール(動画・HP)

中学生作文コンクールサポート動画

生活設計やリスク管理、ならびに社会保険や生命保険などについて、わかりやすく動画で学ぶことができます。

<https://www.jili.or.jp/school/concourssupport/index.html>



生命保険を知る・学ぶ

生命保険に関する知っておきたい基礎知識や、生命保険・年金・医療・介護・税金に関するQ&A、出版物などを通して、最新かつ適切な情報をお届けします。

https://www.jili.or.jp/know_learns/



- ★授業時間が50分以上の場合
- ★授業展開案の内容を補足したい

2. テーマ別「参考スライド集」



★授業内で補足資料としてご活用いただけるスライドをテーマ別にまとめた「参考スライド集(生命保険、社会保障制度、資産形成、働き方・キャリア、契約・消費者トラブルの計5種類)」をご用意しております。

★本展開案に各テーマの使用推奨箇所と各スライド番号を掲載しています。

5. 授業展開（詳細）

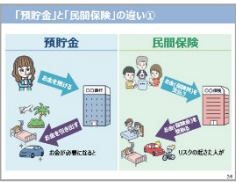



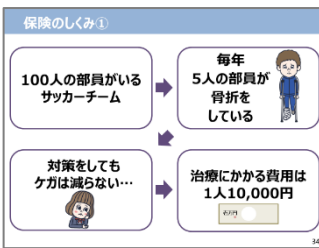

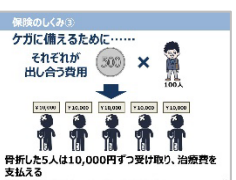
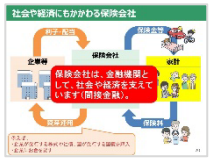
【図記号の説明】

○：スライドタイトル 【WS】 ワークシート掲載
 ★：ポイント ★★★：重要ポイント (Q.)：発問

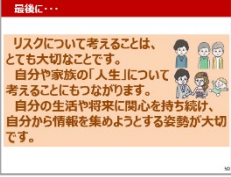
時間	スライド	内容	備考	参考スライド
導入 2分		<p>今日のねらい</p> <p>○今日のねらい【WS】</p> <p>★授業の目的を確認する</p>	<p>・「日本に 100 歳以上の人は何人いるのか知っている？」と投げかけ、超高齢社会の現状について意識付けをしてから、今日のねらいを説明。</p>	
展開 ① 10分		<p>1. 超高齢社会について考えよう</p> <p>○日本に 100 歳以上の人は何人いるの？</p> <p>★本教材のタイトルにある「人生 100 年時代」をキーワードに、日本の高齢化の現状について認識させる</p> <p>○平均寿命</p> <p>★日本の平均 寿命を紹介する</p> <p>○平均寿命と健康寿命</p> <p>★平均寿命と健康寿命の差を紹介し、この期間に病気にかかったり、介護が必要になる可能性があることをイメージさせる</p> <p>○日本の少子高齢化の現状と推計</p> <p>★グラフで少子高齢化の状況、今後の推計を認識させる</p>	<p>(Q) 2024 年の日本の 100 歳以上の人口はどれくらいでしょう？</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【参考データ】 100 歳以上の高齢者の数は、老人福祉法が制定された 1963(昭和 38)年には全国で 153 人だったが、1981(昭和 56)年に 1,000 人、1998(平成 10)年に 10,000 人、2012(平成 24)年には 50,000 人を超えた。 <厚生労働省「百歳の高齢者へのお祝い状及び記念品の贈呈について」(2024 年 9 月)「現在の住民基本台帳による都道府県・指定都市・中核市からの報告数></p> </div>	<p>【生命保険(生活設計編)】※介護データ スライド 20・21・23</p>
		<p>中学生向け動画(約 4 分)</p> <p>※高齢社会と関連付けて、生命保険について説明する際の導入に活用ください。</p> <p>【動画④】</p> <p>人生 100 年時代に必要な備えとは？</p> <p>中学生作文コンクールサポート動画</p> <p>https://www.jili.or.jp/school/concourssupport/index.html</p>		
		<p>○人生におけるリスク</p> <p>★病気や介護等といった高齢化に伴うリスクだけではなく、人生において様々なリスクがあることを伝える</p>		

時間	スライド	内容	備考	参考スライド
展開 ② 10分		<h2>2. リスクについて考えよう</h2> <h3>○リスクとは何か</h3> <p>★リスクとは何か、普段の生活の中でどんなリスクがあるかを想像させ、発生すると経済的な損失を被ることを認識させる</p> <h3>○事例「足の骨折で入院したら」</h3> <p>★イラストを使ったアニメーションを通じてリスクが起きてしまった事例について具体的にイメージさせる</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【用語】 リスク：予想できない事態により経済的損失や不利益を被る可能性のこと</p> </div>	
				
		<h3>○考えてみよう</h3> <p>【足の骨折で手術が必要となり、22日間入院した事例】</p> <p>★どんなことにお金がかかるか考えさせる</p> <h3>○①必要となるお金（事例）</h3> <p>★必要となる医療費等の金額を提示し、リスクが起きてしまったら一定の金額が必要なることを認識させる</p> <h3>○②入ってくるお金（事例）</h3> <p>★入ってくるお金として「公的医療保険」について説明する</p> <h3>○③自分で準備する必要があるお金（事例）</h3> <p>★事例を通じて、不足する金額を自分で準備して補完する必要があることを理解する</p>		<p>【生命保険(事例編)】 ※医療費内訳、高額療養費制度 スライド 31・32</p> 
		<h3>○月額の給与について</h3> <p>★上記③「自分で準備する必要があるお金」の「約20万円」は、20歳代前半の月収に相当する大きな金額であることを認識させる</p> <h3>○直近の入院時の自己負担費用</h3> <p>★スライド8「主要疾病の平均入院日数」に記載のとおり、長期入院をする場合や20万円を超える支出をする場合もあることを参考情報として伝える。</p>	<p>・「自分で準備する必要があるお金」を備えておく代表的な手段として、「預貯金」や「民間保険」があることを伝える。</p>	

時間	スライド	内容	備考	参考スライド
		<p>○自分の身を守るために【WS】穴埋め</p> <p>★★★自分の身を守るための考え方として、「自助・共助・公助」があることを伝える</p> <p>中学生向け動画(約7分) ※社会保険と生命保険の説明の導入に活用ください。 【動画⑤】 もしものときの支え「保険」について見てみよう</p> <p>中学生作文コンクールサポート動画 https://www.jili.or.jp/school/concourssupport/index.html</p> 	<p>・「公助」の「国など」という記載について、国以外に都道府県や市町村といった地方自治体が含まれる。</p>	
<p>展開③ 6分</p>		<p>3. 社会保障制度って何だろう？</p> <p>○「社会保障制度」とは【WS】</p> <p>★社会保障制度が4つの柱からなることを説明する</p> <p>○「社会保険」とは</p> <p>★社会保険の内容を簡単に説明する</p> <p>○社会保障給付費の推移</p> <p>★社会保障制度の給付費が年々高額になっていることを確認する</p> <p>★★★高齢化が進む中で社会保障の給付費が増えていく実態を確認し、持続可能な社会保障制度のあり方について考えていくことが大切であることを伝える</p>	<p>・「共助」は労働者等(加入者)から集める「社会保険料」、「公助」は国民から集める「租税」で運営されている違いについても触れる。 ※「共助」は一部租税でも賄われている。</p> <p>・給付額の多くは「社会保険」に係る費用であることに触れる。</p>	<p>【社会保障制度】スライド3-7</p> 
<p>展開④ 20分</p>		<p>4. 「預貯金」と「民間保険」の違いって何だろう？</p> <p>○自分の身を守るために(再掲)</p> <p>★自助の代表的なものに「預貯金」と「民間保険」があることを確認する</p>		

時間	スライド	内容	備考	参考スライド
	   	<p>4-①. 「預貯金」と「民間保険」の違いは・・・</p> <p>○「預貯金」と「民間保険」の違い① ★預貯金と民間保険のしくみの違いを理解する</p> <p>○「預貯金」と「民間保険」の違い② 【WS】穴埋め ★預貯金と民間保険の特徴を理解する</p> <p>○「預貯金」と「民間保険」の違い③ 【WS】自由記述 ★預貯金と民間保険それぞれのメリット、デメリットを理解する</p> <p>★★★預貯金と保険どちらが良いかではなく、それぞれの特徴を押さえて使い分けることが大事であることを認識させる</p> <p>4-②. 保険のしくみ</p> <p>○保険のしくみ①② ★保険のしくみについて単純化した例で説明する</p>	<p>・民間保険とは、保険会社に保険料を支払うことで、リスクが起こったときに保険金を受け取れる契約である</p> <p>・ヨコ軸に時間をとり、タテ軸に万一の時に使える金額を示している</p>	
	<p><ストーリー・スクリプト></p> <ul style="list-style-type: none"> ・100人の部員がいるサッカーチームがある ・毎年5人の部員が骨折すると仮定する ・対策をしてもケガは減らない ・治療には費用がひとり1万円かかる <p>(次スライド)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そこである部員が思いついた「全員であらかじめ治療にかかる費用を準備しておけばよいのでは」 ・治療にかかる費用はチーム全体で1万円×5人=5万円 ・5万円を100人で準備すればよいので、5万円÷100人=1人あたり年間500円 ・骨折した生徒は1万円を受け取り、治療費にあてることができる 	 		
		<p>○保険のしくみ③ ★単純化した例を、一つの図で示し、理解を深める</p>	<p>・全員が少しの負担でリスクに備えることができるかと補足する。</p>	<p>【資産形成】スライド20</p> 

時間	スライド	内容	備考	参考スライド
	 <p>どのくらいの家族が契約しているの？</p> <p>国内で「生命保険」を契約している家族の割合は約何%？</p> <p>A.約50% B.約70% C.約90%</p> <p>【答え】 C.約90% → 89.2%</p> <p>何件契約しているの？</p> <p>家族で契約している生命保険の件数は平均で何件？</p> <p>A.約1件 B.約4件 C.約6件</p> <p>【答え】 B.約4件 → 平均3.8件</p> <p>いくら支払っているの？</p> <p>家族が1年間で生命保険会社に支払っているお金（保険料）はいくら？</p> <p>A.約20万円 B.約40万円 C.約60万円</p> <p>【答え】 B.約40万円 → 平均35.3万円(年間) (月々約2.9万円)</p> <p>保険会社全体でいくら支払われているの？</p> <p>1年間で国内の生命保険会社から生命保険に契約している人に支払われるお金（保険金等）はいくら？</p> <p>A.約4,000億円 B.約4兆円 C.約40兆円</p> <p>【答え】 C.約40兆円 → 約42.8兆円</p>	<p>4-③. 生命保険って何？</p> <p>○生命保険と損害保険</p> <p>★民間保険には、生命保険と損害保険があり、保険の対象が異なることを説明する</p> <p>○生命保険の種類【WS】穴埋め</p> <p>★生命保険はリスクに応じてさまざまな種類があることを説明する</p> <p>【クイズ4問】</p> <p>★クイズ形式により、データを用いて「生命保険」の特徴や種類について学ぶ</p> <p>○どのくらいの家族が契約しているの？</p> <p>○何件契約しているの？</p> <p>○いくら支払っているの？</p> <p>○生命保険会社全体でいくら支払われているの？</p>	<p>【参考データ】</p> <p>日本の生命保険会社の数…41社（2025年3月末時点）</p> <p><金融庁 免許・許可・登録等を受けている業者一覧（令和6年11月25日現在）></p>	<p>【生命保険(商品編)】</p> <p>スライド 25-28</p> <p>「万が一(死亡)に備える生命保険」</p> <p>「定期保険・養老保険・終身保険」</p> <p>「万が一(死亡)に備える生命保険」</p> <p>「医療保険」</p> <p>「介護保険」</p>
まとめ5分	 <p>まとめ</p> <p>① 超高齢社会で生きていくためにはリスクに気づくことが大切。</p> <p>② リスクから自分の身を守る手段として共助・公助といった社会保障制度だけでなく、預貯金や民間保険といった自助もある。</p> <p>③ 社会保障制度で不足する部分を、自助である預貯金や民間保険を利用して準備することが大切。</p>	<p>5. まとめ</p> <p>○まとめ【WS】穴埋め</p> <p>★★★学んだ内容のポイントをふりかえる</p> <p>① 超高齢社会で生きていくためにはリスクに気づくことが大切</p> <p>② リスクから自分の身を守る手段として共助・公助といった社会保障制度だけでなく、預貯金や民間保険といった自助もある</p> <p>③ 社会保障制度で不足する部分を、自助である預貯金や民間保険を利用して準備することが大切</p>		

時間	スライド	内容	備考	参考スライド
		<p>○最後に【WS】自由記述</p> <p>★★★自分から情報を集めようとする姿勢が大切であることを伝える</p> <p>【WS】今日学んだことや気づいたことについて書いてみよう</p> <p>★WSに穴埋めした内容などを振り返りながら今日の授業で学んだことを考えさせる。</p> <p>※グループで考えても良い</p> <p>※問いかけの内容についてはアレンジ可能。</p> <p>例)「今日学んだことはこれからの自分の人生にどう生かせるか」「自分にとって一番備えなければいけないリスクは何だと思うか」</p>		

6. 本教材における中学校社会科学習指導要領との対応

2017（平成 29）年 3 月告示 中学校社会科学習指導要領「社会」（公民的分野）

A 私たちと現代社会

（1） 私たちが生きる現代社会と文化の特色

ア 次のような知識を身に付けること。

【学習指導要領解説 社会編】

・・・現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解することとは、以下のよう
に捉えることができる。少子高齢化については、近年の少子化の進行と平均寿命の伸長によって、我が国の人口構造が変化し、
世界で類を見ない少子高齢社会を迎えていることや、少子化が一層進み人口減少社会となっていることを理解できるようにす
ることを意味している。・・・また、医療や年金など社会保障費の財政負担が増大し、財政の状況が悪化していることを理解
できるようにすることなどが考えられる。

（2） 国民の生活と政府の役割

ア 次のような知識を身に付けること。

（ア）社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、
それらの意義を理解すること。

【学習指導要領解説 社会編】

少子高齢社会における社会保障の充実・安定化・・・の意義を理解することについては、日本国憲法第 25 条の精神に基づく
社会保障制度の基本的な内容の理解を基に、その充実・安定化を図っていく必要があることを理解できるようにするととも
に、財政の現状や少子高齢社会など現代社会の特色などを踏まえながら、受益と負担の均衡のとれた持続可能な社会保障制度
の構築など、これからの福祉社会の目指す方向について理解できるようにすることを意味している。その際、貯蓄や民間の保
険などにも触れ、社会保障の充実・安定化のためには、自助、共助及び公助が最も適切に組み合わせられるよう留意することが
求められていることについても理解できるようにすることが大切である。

C 私たちと政治

（1）人間の尊重と日本国憲法の基本的原則 （2）民主政治と政治参加

D 私たちと国際社会の諸課題

（1）世界平和と人類の福祉の増大 （2）よりよい社会を目指して

□監修

大藪 千穂 教授（岐阜大学教育学部）

□2025 年度版編集協力（50 音順）（所属は 2025 年 3 月時点）

伊藤 郷 先生（渋谷区立上原中学校）

白井 裕輔 先生（東京都立小石川中等教育学校）

古田 一博 先生（中野区立第二中学校）

山下 孝之 先生（千代田区立九段中等教育学校）